

株式会社Rootの開発供給実施計画の概要

スマートグラス用のAR（拡張現実）技術を用いた農作業補助アプリ『Agri-AR』

2024年12月認定
(2026年9月変更)

<取組概要>

AR技術を用いた農作業補助アプリについて、適用場面の拡大に向けた機能拡充や改良を行うとともに、アプリ搭載したスマートグラスのレンタルサービスを提供

<申請者名（代表者）>

株式会社Root

<計画の実施期間>

5年間

<本技術による生産性向上の効果>

- 「農作業共通」のうち「スマートグラス等の熟練を要する作業の補助に係る技術」により労働時間20%削減に資する技術

（播種、移植作業等の畝立てに要する作業時間削減）

<活用する支援措置>

日本政策金融公庫の長期低利融資

<開発技術のイメージ>

1. 平行直線ガイド



畝立てなどに必要な平行直線ガイドを圃場に表示する。ガイドはGNSS-RTKと連携させることで、誤差数cmの固定精度を実現。

2. サイズ計測



作物などのサイズを簡単に計測・データ保存できる機能。指先を用いた方式など、4種類の計測方式を利用できる。

3. 畝シミュレーション



現実空間の圃場に仮想の畝を表示し、畝の本数や株数のシミュレーションができる機能。マルチのタイプや畝間などの設定が可能。

4. 距離/面積計測など



距離/面積/体積などの各種計測及び、その等分割線を現実空間に表示し保存することができる。GPSとの連携も可能。